

令和4年度 樟蔭中学校・高等学校 学校評価

1 めざす学校像

「高い知性」と「豊かな情操」を兼ね備えた、社会に貢献できる女性の育成をめざす

- 1 自ら学び、自ら考える力を養う総合的な学力を育む
- 2 自らの興味・関心を深め、能力・適性をさらに伸ばし、将来の目標を達成する力を育む
- 3 自らの判断に基づいた行動ができる自立性と、社会生活や学校生活における規範意識の涵養に努めるとともに、様々な教育活動を通して豊かな人間性を育む

2 中期的目標

- 1 学力の育成
  - (1) 授業の充実
  - (2) 朝の学習や補習の充実
  - (3) 新しいカリキュラムに基づいた授業の実施と各コース目標の達成
  - (4) 生徒へのサポート
  - (5) グローバル教育
- 2 豊かな人間性の育成
  - (1) 生活指導を通じた“Little Lady”の育成
  - (2) 発達段階に応じたキャリア教育の充実
  - (3) 励まし合いや思い遣りの心を養う教育活動の充実
- 3 進路の保証
  - (1) 高校3年生の進路希望の100%実現
  - (2) 中学生及び高校1年生・2年生に対する発達段階に応じた進路意識の育成
- 4 教員力の向上
  - (1) 授業力の向上
  - (2) 教職員の学校運営に係る体制づくり
  - (3) 教員研修と資質の向上
- 5 入学生の確保
  - (1) 「樟蔭ブランド」のアピール
  - (2) 新しいコースの取り組みについての徹底した広報活動
  - (3) 施設設備の充実
- 6 安全安心な学校づくり
  - (1) 教育相談の充実
  - (2) 安全確保の徹底

3 令和4年度の取組内容及び自己評価

	令和4年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	取組状況・達成状況・今後の改善方策
1 学力の育成	(1)授業の充実	ア.電子黒板やiPadなどの教育ICTを活用した、より魅力ある授業の展開 イ.女子校の特性を生かした学び合いによるグループ学習などのアクティブ・ラーニングの実践 ウ.「総合的な探究の時間」を通して、課題を設定し解決していく力を育成	ア～ウ 取組の有無 アンケート	ア.教員アンケートによると、教科指導においてICTツールを活用している教員は約76%。(○) イ.グループ学習については教科によってバラつきあり(△) ウ.すべての教員が、授業内容や方法についての工夫・改善に取り組んでいるという回答。(○)
	(2)朝の学習や補習の充実	エ.生徒の状況や課題解決に応じた、より効果的な朝の学習の実施 オ.明確な目的のもと、個々の生徒の実態に応じたきめ細かな放課後補習の実施	エ・オ 実施の有無	エ.中学1年の百マス計算から始まり、中高におけるリスニングや小テスト、ペン字や読書など到達度を見ながら内容を変えて実施。(○) オ.希望者補習や指名補習など、きめ細かく実施。(○)
	(3)新カリキュラムの実施	カ.新カリキュラムの実施と、各コースの目標達成に向けた特徴ある取り組みの実施 キ.各コースの目標達成に向けた学習における学力到達度や授業満足度の把握 ク.各コースにおける「総合的な探究の時間」の実施と、内容の検討・改善	カ・キ 実施の有無 アンケート  ク 実施の有無	カ.教務部や各コース主任を中心に、進行管理と点検を実施。取り組みの修正は適宜。(○) キ.定期テストや小テスト、外部模試などを活用。コース別の授業に対する評価は、中学高校ともにコースによりばらつきはあるが、肯定的な回答の割合は平均すると、中学・高校とも約80%。各教科で状況を把握し随時対応。(○) ク.教務部や各コース主任、管理職が中心となり取り組みを実施。(○)

1 学力の育成	(4)生徒へのサポート	ケ.担任や教科担当、学年と分掌との連携による生徒の学力や学校生活状況の把握とサポート コ.Google Classroom を活用したオンライン授業の実施 サ.担任による定期的な個人面談の実施 シ.「キャリアサポート制度」の充実 ス.クラブ活動の外部指導員採用の検討	ケ～ス 実施の有無	ケ.各学期末の成績や模擬テスト等の結果を関係者で共有。また日々の生活状況についても適宜意見交換。(○) コ.自宅学習時の学力保障への取り組み。(○) サ.全員の保護者懇談は年 2 回実施。担任による個人面談は適宜実施。(○) シ.一部修正した新しい制度を開始し、さらに細やかな対応を実施。(○) ス.強化クラブに対して外部指導員採用。(○)
	(5)グローバル教育	セ.英語弁論大会及び英語暗証大会の実施 ソ.外国人教員による英検講座の実施 タ.海外研修の充実 チ.i-Lounge によるイベントの実施 ツ.Skype を活用した国際交流の実施 テ.学内留学の実施	セ～テ 実施の有無	セ.感染対策をとり実施。(○) ソ.2次対策を実施。(○) タ.希望者による NZ3 ヶ月留学、韓国研修旅行を実施(○) チ.感染対策をとり実施。(○) ツ.姉妹校である台湾の曙光女子高級学校、韓国の世和女子中学校とのオンライン交流会を実施。(○) テ. All English による心理学講座等を実施。(○)

2 豊かな人間性の育成	(1)生活指導を通じた“Little Lady”の育成	ア.挨拶・言葉遣い・身だしなみ指導や、集団生活におけるマナー指導の全校的な取り組み イ.情報モラル教育の徹底 ウ.クラブ活動における活動方針に沿ったクラブ指導の実施 エ.樟蔭レッスンの実施	ア・イ 実施の有無 アンケート	ア.挨拶運動や登下校指導、集会時の指導の実施に加え、日常の学校生活における注意等により効果は上がっている。「挨拶をよくしている 92%」、「ルールをよく守っている 96%」(○) イ.講演会等を実施。(○) ウ.新型コロナ感染予防を徹底し実施。(○) エ.樟蔭レッスン実施(○)
	(2)発達段階に応じたキャリア教育の充実	オ.望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識を身に付けさせるためのキャリアHRの実施 カ.興味・関心や能力・適性を理解し、将来について考えさせる段階的な取り組みを検討・実践 キ.年間キャリア教育プログラムの作成	オ～キ 実践の有無	オ～キ.進路指導部主導の高大連携講座や資格取得講座をはじめ、様々な説明会や体験行事を実施。また、高2・高3の進路HRにおける小論文対策講座など、HR等で様々な機会を利用して進路意識を高めている。年間キャリア教育プログラムについては、作成し教室等に掲示をするとともに適宜更新している。(○)
	(3)励まし合いや思い遣いの心を養う教育活動の充実	ク.人権教育行事の内容の検討と実践 ケ.視聴覚行事や校外活動、図書館活動の目的の再確認と進化 コ.様々な学校行事やHR活動、クラブ活動などを通じた仲間づくりと自主性の育成 サ.特別な配慮を必要とする生徒へのサポート体制づくり シ.「樟蔭スタイル」の導入・定着による望ましい人間関係づくり ス.ウガンダプロジェクトの充実 セ.ボランティア団体 CSA(=Community Support Association)のさらなる活性化	ク～セ 取組の有無	ク.弁護士による女性の人権授業や北海道修学旅行前のアイヌ民族についての人権学習などを実施。(○) ケ.学外での芸術鑑賞行事や中学校外学舎は実施(○)、夏の高原学舎は中止(×)、スキー学舎は実施(○)。図書館通信・アンケート等を活用した図書館活動は充実。(○) コ.積極的な生徒自治会の役員を中心に、体育祭・文化祭は十分な感染対策をとったうえで実施。また、中高合同の自治会活動が多く、自治会執行部役員だけでなく、その次のリーダーの活動も活発になってきている。(○) サ.サポート会議を適宜実施するなど、きめ細かな取り組みを進めている。(○) シ.細部の工夫・修正をしながら取り組んでいる。(○) ス・セ.CSA が中心となり生徒達から集めた文房具をウガンダに送る、ペットボトルキャップを集める活動、近隣の清掃活動等多岐にわたる活動を実施。(○)

3 進路の保証	(1)高校 3 年生の進路希望の 100%実現	ア.学年と進路指導部の連携による進路指導体制の強化 イ.進路実現に向けての講習や補習、講演会や体験活動など、適切なサポート体制の再構築 ウ.看護医療・芸術身体各コースに対応する大学との連携による出口卒の拡大と保証 エ.卒業生による進路講演の実施 オ.総合型選抜や学校推薦型選抜への対応	ア～カ 取組の有無	ア～カ.希望する進路の実現に向けて、個人面談や進路HRを適宜実施して、きめ細かくサポートしている。小論文や面接に対しては、対策チームを設置して取り組んでいる。内部進学希望の生徒には、樟蔭女子大の教員による説明会や面談体験などを実施。外部大学進学希望生には志望校に応じた模擬試験を受験、個人面談において結果の分析・アドバイスを繰り返し行っている。(○)
------------	-------------------------	--	--------------	---

	(2) 中学及び高校 1 年・2 年 に対する発達段階に応じた進路意識の育成	<p>に向けた小論文指導・面接指導の充実 カ. 大阪樟蔭女子大学各学部学科との連携強化</p> <p>キ. 担任を中心とした、生徒一人一人の学力の把握と進路目標についての適切なアドバイスを ク. 進路指導部による様々な行事の継続・充実と適切なフォローアップの実施 ケ. 進路ニュースの発行 コ. 英語検定・漢字検定・数学検定等各種検定の実施</p>	キ～コ 取組の有無	キ～コ. 【中学】国際教養コースについて模擬試験を年間 2～3 回実施し、結果を分析・共有。生徒とも適宜面談している。また、オリエンテーションや長期休暇中の講習の実施、計画的な進路 HR で進路意識の育成を図っている。(○) 【高校 1・2 年】各コースの進路目標に応じた模擬試験や進路 HR を計画的に実施。各種補習や小論文指導などを通じて、目標達成への自主的な取り組みができるように導いている。また、大学の教員による出張講座や学部学科説明会により進路意識を高めている。(○)
--	---	--	--------------	--

4 教員力の向上	(1) 授業力の向上	<p>ア. 管理職による、教員の授業力向上に向けた指導・助言と様々な企画等の推進 イ. 授業アンケートの実施と結果の活用による授業力の向上 ウ. 研究授業の実施による授業内容・方法の相互チェックと改善 エ. ICT 機器の有効利用</p>	ア～エ 取組の有無 アンケート	ア・イ・ウ. 生徒全員による教科担当全員対象の授業アンケートを 7 月に実施。結果は個人別・教科別でまとめ、全員に提示。(○) エ. iPad を活用した授業を実施。(○)
	(2) 教職員の学校運営に係る体制づくり	<p>オ. 運営委員会の活性化と、それを通じたミドルリーダーの育成 カ. 「各プロジェクトチーム」が授業力向上の方策を企画 キ. 「デスクネッツ」の活用による会議のリストラ ク. 新たな学事システムの導入による問題点の改善 ケ. 各部署、各委員会、各教科での業務の課題の確認と改善</p>	オ～ケ 取組の有無	オ. 学校の運営に係る議論を活発にして、ミドルリーダーの育成をめざしている。(○) カ. どの分掌にも属さない緊急性のある諸課題について、希望者からなるチームで迅速に対応できるように努めている。(○) キ. 十分に活用できている。(○) ク. 業者による勉強会を実施し、改善できるところは改善している。(○) ケ. 問題点を洗い出し、改善すべき点があれば改善推進。(○)
	(3) 教員研修と資質の向上	<p>コ. 「到達目標システム」による目標設定と達成度チェック、管理職との面談 サ. 管理職による授業観察やアドバイスと、生徒による授業アンケート結果の授業への反映 シ. ICT 機器の活用に向けた技術習得研修の実施</p>	コ～シ 実施の有無	コ. 提出された目標設定シートをもとに、管理職と面談を実施。(○) サ. すべての授業を観察し、生徒による授業アンケートの結果も踏まえて面談している。(○) シ. できるだけ多くの教員が参加できるように、日時の設定にも配慮している。(○)

5 入学生の確保	(1) 「樟蔭ブランド」のアピール	<p>ア. これまでの広報活動の検証を踏まえ、広報室を中心とした学校全体による組織的・積極的な広報活動のさらなる展開 イ. 学園広報との連携の強化とマスコミへの積極的な働きかけ ウ. 地元をはじめ、様々なイベントへの積極的な参加・協力 エ. リニューアルしたホームページのさらなる活用 オ. 公立中学校及び塾に特化したより効果的な広報活動の工夫と実践 カ. 広報イベントのあり方の検討と実践 キ. 様々な広報ツールの開拓と実践 ク. 同窓生への広報活動の充実 ケ. 樟蔭イングリッシュアカデミー (SEA) の実施 コ. 満足度調査の実施と結果の分析及び改</p>	ア～ク 取組の有無	ア. これまでの広報活動の検証を踏まえ、変化する生徒や保護者のニーズを把握して、新しいコースを設置することや新しい入試制度を実施することにより、入学生の確保に努めている。(○) イ. 広報ツールの新たな活用やマスコミへの働きかけを行っている。(○) ウ. あらゆる機会を捉え、クラブや自治会を中心に取り組みを進めている。(○) エ. より楽しく充実した内容となるように、様々な工夫をしている。(○) オ～ク. いろいろな調査により、効果的な広報活動の方法と内容の工夫・実践を続けている。(○)
			ケ～シ 取組の有無	ケ. 感染対策をとり実施。(○) コ. 調査の結果、約 80% の生徒が「学校に行くのが楽しい」と思っており、保護者の満足度は 90% 超となっている。

	<p>善への取り組み</p> <p>サ.重点塾、公立中学、地域の検討と担当者の配置</p> <p>シ.中学・高校のウリの整理とアピール方法の検討</p> <p>ス.中学校及び高校に設置したコースについての目標や学習内容の積極的周知活動</p> <p>セ.中高大の連携による体系的な教育体制の構築と広報</p> <p>ソ.CSクラスの充実</p> <p>タ.メディア企画室による広報手段（マスコミ、WEB）の拡大</p> <p>チ.広報ツール（パンフレット、チラシ等）の検討と活用</p> <p>ツ.20号棟生徒トイレの改修工事</p> <p>テ.情報教室のパソコンの入れ替えの検討</p> <p>ト.電子黒板入れ替えの検討</p> <p>ナ.教員用パソコン入れ替え</p>	<p>ス～チ</p> <p>実施の有無</p>	<p>満足度が80%に届かない項目については分析・改善を実施中。(△)</p> <p>サ.重点塾、中学、地域の検討をし、担当者を配置。場合によっては管理職も同行した。(○)</p> <p>シ.管理職・入試部を中心に繰り返し議論を実施。(○)</p> <p>ス.これまでの取り組みの評価すべき点や修正すべき点を明確にして設置したコースについて、積極的な広報活動に努めている。(○)</p> <p>セ.大阪樟蔭女子大の一部の学部学科との連携を進めており、他の学部学科との連携強化も推進している。(○)</p> <p>ソ.新たな学びの場を増やし、ニーズに対応。(○)</p> <p>タ.デジタルコンテンツを活用した広報活動を積極的に取り入れている。(○)</p> <p>チ.受験生にわかりやすく魅力のある広報ツールを作成し活用。(○)</p> <p>ツ～ナ.すべて計画通り実施。(○)</p>
(2)新しいコースの取り組みについての徹底した広報活動			
(3)施設設備の充実			

6 安全安心な学校づくり	(1)教育相談の充実	<p>ア.担任等による個別相談を中心とした相談体制づくり</p> <p>イ.カウンセリングマインドについての研修による担任等の教育相談力の向上</p> <p>ウ.担任、スクールカウンセラー、コーチングスタッフ（CS）との連携による一人一人のサポート</p> <p>エ.いじめ早期発見のためのアンケート（生徒・教員）</p>	<p>ア～エ</p> <p>取組の有無</p>	<p>ア～エ.すべて実施しており、さらなるきめ細かな体制づくりに努めている。(○)</p>
	(2)安全確保の徹底	<p>オ.避難経路の徹底と実地訓練の実施</p> <p>カ.救急救命訓練の実施</p> <p>キ.自転車安全利用の促進講習の実施</p> <p>ク.災害時の生徒用備蓄品の設置</p> <p>ケ.学校危機管理マニュアルの点検</p> <p>コ.緊急連絡体制の整備</p>	<p>オ～コ</p> <p>実施の有無</p>	<p>オ～コについて全て実施。(○)</p>

#### 4 自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見

自己評価アンケートの結果と分析	学校評価委員会における意見
<p>○生徒[令和4年7月実施]</p> <p>学校生活や家庭での状況や意識について、20項目についてのアンケートを行った。そのうち、肯定的な回答が特に多いもの（概ね8割以上）を挙げる。また☆印は9割以上のもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の雰囲気は良い</li> <li>・ルールやマナーを守り、節度ある行動がとれている</li> <li>・挨拶をよくしている(☆)</li> <li>・勉強やクラブなど打ち込めるものがある</li> <li>・今のクラスが気に入っている</li> <li>・友人と協力して様々なことをすることができる</li> <li>・学校内にいろんなことを話せる友人がいる(☆)</li> <li>・学校生活に満足している</li> <li>・家の人とはよく話をする(☆)</li> </ul> <p>全体的な傾向は例年と同様である。学校生活の満足度や友人との関係についての評価はかなり高い。</p> <p>○保護者[令和5年3月実施]</p> <p>学校の様々な取り組みについての満足度調査を実施した。その結</p>	<p>○学校評価委員会[令和5年3月22日実施]</p> <p>〈令和4年度の主な出来事について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・百年会館と中高体育館のクーラーについて ⇒何らかの形で導入を検討中</li> <li>・入試状況 (中学) 80名位で安定している。100名位要望する。子どもの数が減っている状況 (高校) 277名(+20)、令和4年度258名。他の女子高も厳しい。 併願の戻りについては公立の定員割れで、不合格になる生徒減った。 府立も読めない。 内部中学生のうち令和4年度は7割強が樟蔭高校へ進学。一部のクラブで外部進学が増加。⇒次年度に向けて中高兼任のコーチを採用</li> <li>・入試資料 リーフレットやイベントガイドを作成。</li> <li>・研修について 韓国研修 3/21-3/24 24名参加</li> </ul>

果、中高合わせて全体的な保護者の満足度は高いもの（8割強）であり、保護者から見た生徒の満足度も概ね8割となっていた。特に「中学生の生活指導」、高3生の各項目についての評価が高い。入学理由については中高共に、「周りの人の勧め」「通学の利便性」「コースやクラブ」が高かった。

○教職員アンケート[令和5年3月実施]

現在の取り組みについて、15項目についてのアンケートを実施した。生活指導や教育活動の取り組みに対する自己評価は例年同様高く、中でも自己評価が昨年に比べて高くなっているのは、各コースでの取り組み・授業内容や方法である。また、学校全体で取り組むべき課題に対する意識は向上しているが、学習面での取り組みや行事の在り方についてさらなる高みを目指したい。

ニュージーランド語学研修3か月 10/2-12/16 15名参加

- 中学 STEAM 教育について  
R5年度よりプログラミング教育を国際教養コースで実施予定。
- 女子中フェア  
3/21実施 63組（令和4 60組）
- UPAS 海外大学進学協定高推薦制度にも加入
- 内部大学進学について  
内部推薦 30%
- 高校のコース 6コース募集から3コース募集に変更
- 海外協定  
韓国 of 世和（セファ）女子高校、台湾の曙光中等学校と協定。

〈その他の感想〉

- 就職活動がアピールできるように 指定校 60%  
中学受験から大学を意識している。進路保障出来る学校である。
- 中高一貫で伝統のある学校。
- PTA の年代によって考え方が違う
- 樟蔭は一定の成績があれば大学進学が出来る安心感がある。
- 樟蔭女子大学の魅力をもっとアピールして欲しい。
- 理系女子をどのように育てるのか。SE が少ないので、SE になる女子を増やす。
- 出口・第2外国語を利用して、年に1度は海外の大学に進学できるように。
- 奈良女子大学や京都女子大学は理系の枠を増やしている。
- 台湾や韓国の中高生は、毎日2.3時間勉強している。
- (ネットの情報について) 親が何を言っても信じないが、スマホからの情報 (YouTube など) は信じる。
- 宝塚プレスクール とても厳しくしつけている。一定層は厳しさを求めている。世の中に出て対応できるようにしつけて欲しい。食べ方、姿勢、立ち居振る舞いなどしつける。
- 助成金がもらえる時期について・国と府でタイムラグがある。  
6月に助成金が出る→先に助成金を支払って欲しい。